

自動走行システム推進委員会（第3回）議事要旨

1. 日 時 平成26年8月6日（水）10:00～12:00

2. 場 所 内閣府本府庁舎3階第3特別会議室

3. 出席者：（敬称略）

（議長）渡邊 浩之	プログラムディレクター
有本 建男	政策研究大学院大学 教授
葛巻 清吾	CSTO（Chief Safety Technology Officer）補佐
朝倉 康夫	東京工業大学 大学院 理工学研究科 教授
天野 肇	ITS-Japan 専務理事
稲垣 敏之	筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 研究科長
岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
加藤 晋	産業技術総合研究所 知能システム研究部門 研究グループ長
川本 雅之	トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主査
清水 和夫	自動車ジャーナリスト（代理：吉岡卓朗）
関口 守	富士重工業株式会社 技術本部電子商品設計部 主幹
栃岡 孝宏	マツダ株式会社 技術研究所 部門統括研究長
永井 正夫	日本自動車研究所 所長
福島 正夫	日産自動車株式会社 環境・安全技術渉外部 技術顧問
横山 利夫	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員（代理：鶴浦 清純）

市川 類	内閣官房 IT総合戦略室 参事官
山本 和毅	警察庁 長官官房 参事官
森下 信	総務省 総合通信基盤局 新世代移動通信システム推進室 室長（代理：上野喬大）
吉田 健一郎	経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術ITS推進室 室長
山本 巧	国土交通省 道路局 道路交通管理課ITS推進室 室長
久保田 秀暢	国土交通省 自動車局 技術企画室 室長（代理：谷口正信）

オブザーバー

村山 隆	東京都 青少年・治安対策本部 治安対策担当部長
------	-------------------------

説明者

- ・システム実用化WG
 - 鶴浦 清純 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 主任研究員
 - 白土 良太 日産自動車株式会社 モビリティ・サービス研究所 主任研究員
- ・国際連携WG
 - 内村 孝彦 ITS Japan 理事 自動運転プロジェクトリーダー
- ・次世代都市交通WG
 - 花井 利通 ITS Japan 企画グループ グループ長
- ・科学警察研究所
 - 萩田 賢司 交通科学部 主任研究官
- ・特許庁
 - 内山 隆史 総務部企画調査課知的財産活用企画調整官

事務局

田沼 知行	内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官
-------	------------------------

4. 議題

1. 推進委員会及び各WGの体制について
2. 研究開発テーマの進捗について
 - ① 関係府省の研究開発テーマ進捗状況
 - ② 本日議論するテーマ
 - ③ 欧米の関心事と SIP の整理
3. システム実用化 WG の進捗状況について
 - ① 地図情報の高度化
 - ② ドライバーと自動走行システムの役割
 - ③ マルチ GNSS 基礎評価実験
4. 次世代都市交通 WG の進捗状況について
 - ① 警察庁（警 5・PICS）について
 - ② 科学警察研究所レポート
 - ③ 有識者構成員（大日方氏）レポート
 - ④ 交通弱者・歩行支援システム タスクフォースの設置について
 - ⑤ 警察庁（警 4・PTPS）について
 - ⑥ ART について
 - ⑦ 次世代都市交通の全体整理（地域都市交通マネジメントの高度化）
5. 国際連携 WG の進捗状況について
 - ① TRB Automated Vehicle Symposium 2014 報告
 - ② 国内開催の国際会議企画
 - ③ ITS 世界会議デトロイトのセッション企画
6. SIP 自動走行システムの統一メッセージ（テーマ・スローガン）の進め方について
7. 特許庁報告（自動走行の国内外状況）
8. 新たな取り組みの方向性について
9. その他（全体議論、今後の予定等）

5. 配付資料

- | | |
|------------|---|
| 資料 3-1-1 | 自動走行システム推進委員会構成員案 |
| 資料 3-1-2 | システム実用化WG構成員案 |
| 資料 3-1-3 | 次世代都市交通WG構成員案 |
| 資料 3-1-4 | 国際連携WG構成員 |
| 資料 3-2-1 | S I P 「自動走行システム」 進捗状況まとめ【非公開資料】 |
| 資料 3-2-2 | 本日の議論内容 |
| 資料 3-2-3 | 各地域関心事と S I P の取り組みテーマ |
| 資料 3-3-1-① | 「地図情報の高度化」の技術開発について【非公開資料】 |
| 資料 3-3-1-② | フィージビリティスタディ実施内容の検討【非公開資料】 |
| 資料 3-3-2 | ドライバーと自動走行システムの役割とインターフェースに関する研究開発
【非公開資料】 |
| 資料 3-3-3 | マルチ GNSS 基礎評価実験について【非公開資料】 |
| 資料 3-4-1 | 歩行弱者等の移動支援システムの開発に向けた基本設計【非公開資料】 |
| 資料 3-4-2 | 科学警察研究所における研究【非公開資料】 |
| 資料 3-4-3 | （交通弱者・歩行支援システム）現状の課題と今後について【非公開資料】 |
| 資料 3-4-4 | 交通弱者・歩行支援システム タスクフォースについて（案）【非公開資料】 |
| 資料 3-4-5 | 次世代公共道路交通システムの開発に向けた基本設計【非公開資料】 |
| 資料 3-4-6 | A R T イメージと自動走行【非公開資料】 |
| 資料 3-4-7 | 自動走行テーマにおける次世代都市交通の位置づけ【非公開資料】 |

- 資料 3-5-1 TRB 速報
- 資料 3-5-2-① 国内開催の国際会議 セッション企画
- 資料 3-5-2-② Workshop on Connected and Automated Driving Systems
- 資料 3-5-3 ITS 世界会議デトロイトのセッション企画
- 資料 3-6 SIP 自動走行システムの統一メッセージ作成の提案
- 資料 3-7 平成 25 年度特許出願技術動向調査
- 資料 3-8 新たな取り組みの方向性について(問題提起)

【参考資料】

- 参考資料 1 自動走行システム推進委員会（第 2 回）議事要旨案
- 参考資料 2 AUTOMATED VEHICLES SYMPOSIUM 2014

6. 議事要旨

1. 推進委員会及び各WGの体制について
 - 資料 3-1-1, 2, 3, 4 に基づき、構成員の変更について事務局より説明
2. 研究開発テーマの進捗について
 - 資料 3-2-1, 2, 3 に基づき、研究開発テーマの進捗、本日の議論内容について PD より説明
3. システム実用化 WG の進捗状況について
4. 次世代都市交通 WG の進捗状況について
5. 国際連携 WG の進捗状況について
 - 資料 3-5-1, 2, 3 に基づき、TRB 速報、国内開催の国際会議セッション企画、ITS 世界会議デトロイトのセッション企画資料について、国際連携WG・天野主査、内村構成員から説明があり、以下の質疑があった。
 - ◇ TRB でも SIP が何かを始めた、とくに、官民共同でやっているということの認識が高まったと感じている
 - ◇ TRB では各国の悩みが我々の悩みと共通であるということがわかった。カリフォルニアの規制に関する取り組みは参考になった
6. SIP 自動走行システムの統一メッセージ（テーマ・スローガン）の進め方について
 - 資料 3-6 に基づき、SIP 自動走行システムの統一メッセージ作成について、国際連携WG・天野主査から提案があり、以下の質疑があった。
 - ◇ 11月の国際会議に向け、SIP の情報発信力が弱いと感じている。公開できるものをいかにわかりやすく伝えていくか、HP づくりもしっかり考えて頂きたい
 - ◇ プレスへの有効なアピール方法も考えたい
7. 特許庁報告（国内外動向）について
 - 資料 3-7 に基づき、自動運転技術に関する国内外の特許動向について、特許庁より説明があった。
8. 新たな取り組みの方向性について
 - 資料 3-8 に基づき、今後注力すべき取り組みについて、渡邊 PD から提案があった。
9. その他
 - 本日の総括として、以下の議論があった。
 - ◇ 資料 3-8 で示された取り組みに、二輪車への対応を入れてほしい

以上